

村の水産振興発展に尽力される

～第25回東通村漁協役職員研修会及び第47回東通村水産功労者表彰式～



10月17日、東通村水産振興推進協議会（会長・越善靖夫村長）の主催により、第25回東通村漁協役職員研修会並びに第47回東通村水産功労者表彰式が開催されました。村内各漁協の役職員等約80名が参加した研修会では、地方独立行政法人 青森県産業技術センター 資源管理部長 伊藤欣吾氏から「沿岸漁業主要魚種の生態と資源動向について」と題し講演がありました。

研修終了後には、今回で47回目となる東通村水産功労者表彰式が行われ、長年漁協役員・職員として村の水産発展に功績のあった方々（左表）に対し、越善会長から表彰状と記念品が授与されました。表彰された皆さんおめでとうございます。

漁 協 役 員		
氏 名	所属・役職名	在職年数
二本柳 勝	小田野沢漁業協同組合 理事	20 年 1 ヶ月
中 村 鉄 男	岩屋漁業協同組合 理事	20 年 0 ヶ月
宮 本 博 明	猿ヶ森漁業協同組合 理事	10 年 7 ヶ月
坂 本 建 美	老部川内水面漁業協同組合 理事	10 年 1 ヶ月
渡 邊 徹 博	野牛漁業協同組合 理事	10 年 0 ヶ月
漁 協 職 員		
氏 名	所属・役職名	在職年数
吉 野 勝 男	尻労漁業協同組合 業務課長	30 年 2 ヶ月
渡 邊 文 子	尻屋漁業協同組合 受託信用課長	30 年 0 ヶ月
竹 山 稔	小田野沢漁業協同組合 販売課長	30 年 0 ヶ月
畑 中 真由美	小田野沢漁業協同組合 信用係	15 年 0 ヶ月

東通村漁業連合研究会「サケ漁況の見通しに係る研修会」

9月27日、村体育館において村漁業連合研究会（会長・川口浩）が「サケ漁況の見通し」についての研修会を開催し、地方独立行政法人 青森県産業技術センター 内水面研究所 研究員 松谷紀明氏より講演をしていただきました。

サケの回帰予測は、過去の河川回帰尾数、沿岸回帰尾数と年齢構成、海況予報等から予測されますが、今年の太平洋沿岸での河川回帰尾数は18・9万尾（昨年13・8万尾）、沿岸回帰尾数は129万尾（昨年97万尾）の見込みであり、昨年度を若干上回るものの、サケ漁の見通しは「昨年並み」と予測されることでした。

当村のサケの水揚量は、平成2年から9年までは4,000トンから5,000トンと県内でも有数の水揚げを誇っていましたが、平成10年以降は2,000トン前後、近年では約1,000トン前後と低調に推移していることから、会員は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



講師 松谷研究員



熱心に耳を傾ける参加者